

ハナノキ Hananolki



事業団体間の協同化推進のシンボルマークです。

発行◎愛知県労働者福祉協議会

愛知県福祉事業団体情報誌

2014 新年号

Winter ● 2014

No.175



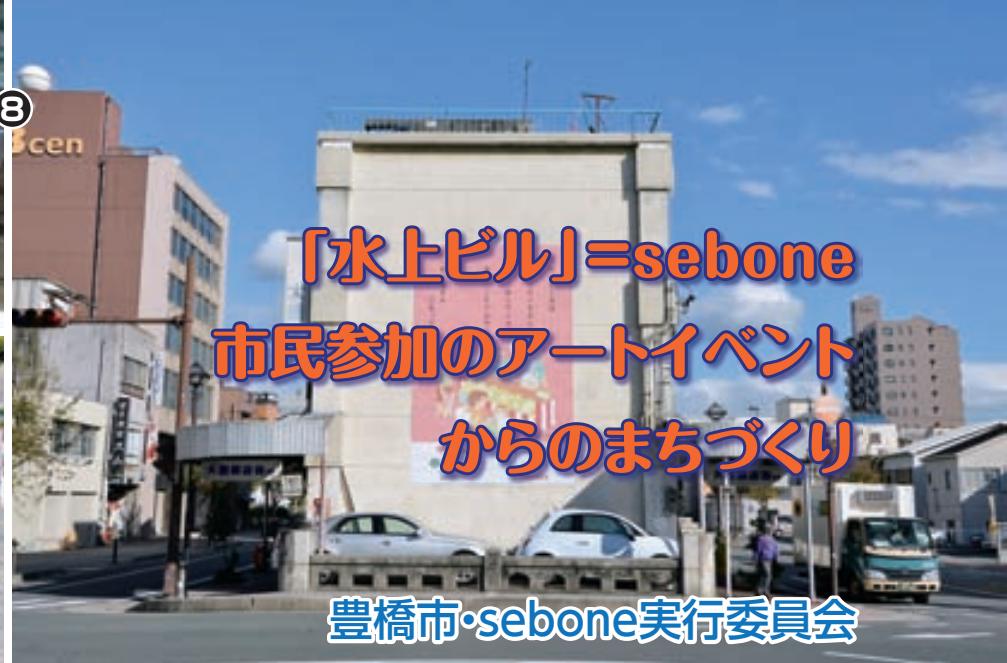
“ひと”と“みず”的流れの
交差点sebone(せぼね)に
斬新なアートの息吹を



まちづくり
くらしづくり

豊橋市 sebone 実行委員会

愛知県労働者福祉協議会



豊橋駅付近の中心市街地は、JR各線、市電を含む私鉄各線が集まる。ところが、地方都市の人口減少や都市機能の変化で勢いを失い、10年ほど前には西武百貨店という求心力の撤退が決まった。このとき、若い世代の中に「豊橋の中心を何とかしよう!」の機運が高まる。目を付けたのは、ユニークな歴史の「水上ビル」商店街。牟呂用水の上に建つこの商店街ビルを彼らは町の背骨に見立て、2004年以来、毎年夏か秋の初めに「都市型アートイベントsebone」を開催している。

商店街「水上ビル」の歴史

水上ビルの起源は、戦後、現在の名豊ビルの一角の700坪ほどの商店の集積に遡る。そこには60数軒の商店は、駅に近いこともあり、約半数を問屋が占めていた。それが昭和39年(東京五輪の年)に中心市街地の整備があり、なんと、牟呂用水の上に全長800mの3階建(一部4階建て)のビルを建て、1階に59店舗商が移転することになる(2階は店舗の住居)。

大豊協同組合の山本一成理事長によれば「川の上のビルでこれほどの規模のものは全国に例がないと見学者もたくさん来たんですよ」とのこと。当時は今のようなファッショビルもなかったので水上ビルの商店街はかなりの賑わいを見せた。

総称「水上ビル」は西側から順に「豊橋ビル」、「大豊ビル」、「大手ビル」と3区分がひとつながり。3階以上が県営住宅だった大手ビルの住居部分は今でこそ使われていないが、水上ビル全体は昔の建物にしては頑丈な作り。店舗ほか、上階では住居や集会室にまだまだ活用されている。

現在お店は40軒ほど。名産の花火問屋や菓子問屋などは老舗だが、店長の個性が際立つセレクトショップや、オリジナルデザインの着物屋さんなど、知る人ぞ知るという、若い世代が経営する名店もある。

seboneの発端はほんの数人から

「この町の活性化をなんとかしたいね」。seboneイベントが始まる最初のきっかけは、そんな素朴な思いへの共感から始まった。発火点は、豊橋技術科学大学の都市計画系の大貝研究室にいた木下博貴さん、この地区を題材に卒論を書いた同じ大学の菊池晃生さん、岡本泰さん(市議会議員、現在は最年少議長)、アート関係でのキュレーターを買って出た松井香奈枝さんらほんの数人からだった。

10年前の当時を振り返って木下さんは「先行して松井さんと岡本さんが水上ビルに着目されてた。あそこでなんかやらない?って誘ったのがこの二人。私と菊池もこの地区でのフィールドワークで関わっていたので、それが繋がりました」と

記憶をたどる。それを見て山本理事長、「最初、組合へお話を持てて来られたのは、松井さんと、岡本さんでした。商店街の理事会では最初疑心暗鬼でしたがね」。

そこからの勢いがすごかったという。発起人グループで大枠が固まったのが2004年の春。第一回の「sebone vol.1」は同年7月23日から3日間。春から夏へのわずか数ヶ月の準備期間だった。にもかかわらず、水上ビル、隣接する狭間児童公園、その地下の旧バスターミナル、名豊ビルを舞台に、絵画やオブジェの展示、ライブ演奏、市民参加のワークショップなどが多彩に繰り広げられた。来場者数は3日間で約7,000人。まずはこの成功をおさめる。

リーダーのいないしなやかな組織

それにしても、そんな短時日のうちに準備が進められたものだ。「それはですね」と発起人メンバーの木下さん。「僕らのまわりに多彩な人脈をどんどん拡げて行ったんです。広告代理店の社長、アーティスト、音楽関係者…等など。僕らは



学生の石川希さんはseboneが縁で商工会議所に就職する。



川瀬(佐原)さんは出版社春夏秋冬叢書の営業にも携わる。



大豊共同組合の理事長山本一成さん。



Sebone初期からのメンバー木下博貴さん。



黒野有一郎さんは水上ビル育ちのUターン組。



Seboneの次の世代を担う榎原寛基さん。



平成25年春、水上ビルの終端に完成した「穂の国とよはし芸術劇場プラット」。



Seboneの活動とあわせて、プラットができる影響もあり、駅前大通から水上ビルまでのエリアでの町の魅力が増した。「まちあるき」ではこの一帯を歩く。



プラット側から見た水上ビルの終端部分。壁面には各商店の「カオ」が見える。

NPO組織でも何でもなく資金もまるでなかったから、とにかく地元有志に理解と協力をいただき、開催にこぎつけられました」。

単なる集客イベントではなく、“アートとまちづくり”というテーマが明確だったので共感・共鳴する人たちも動きやすかったのかもしれない。“セボネ”があるからこそ柔軟に動けるということか。

ところで…取材でお話を聞くうち、気がついたことがある。ここでは年配の山本理事長も学生の石川希さんも、まったく上下関係もわけへどてもない。第1回のseboneの頃、東京からUターンし、水上ビル商店街で一級建築士事務所を開設した黒野有一郎さんにその点を聞いてみた。黒野さんは水上ビルで生まれ育っている。

「ここにはリーダーがいないんです。だから何でも自由にやっていい。トップダウン方式でないところがいいんです。引っ張ってくれるリーダーがないから、自分たちで押し上げる。指示する人もいないから自分で判断してどんどん進める。だから方向が決まれば動きも早いんでしょうね」。

エリアの意見を集約する「まちデザ会議」

seboneのプロジェクトと並行して、駅前エリアの意見を集約するために生まれた組織がある。その名も「豊橋駅前まちなみデザイン会議(駅デザ会議)」。発足の経緯はこうだ。狭間児童公園地下のバスターミナルが8年ほど前に閉鎖されたことになった。この場所を何とか活かす方策を、黒野さんを中心にseboneの仲間や豊橋技術科学大学の建築学生数人で考え、提案にまとめた。それを、市長や地元有力企業などに提案して廻る。この動きはやがて、自治会、地元企業、大学、行政などを巻き込んだ協議会に実を結ぶ。その位置づけについて黒野さんは「地元の意見を集約する場=プラットフォームが必要になったんです。企業や行政本位でまちなみの計画が勝手に進みそうなときも『駅デザ会議』で、事前に制御・調整する機能を働かせることができます。ここを通じた意見は地域の市民の総意としての意味を持つわけですから」と。こうしてseboneは市民の実効性のあるムーブメントも生み出していく。

seboneに更なる肉付けを図る

seboneのこれからについて、榎原寛基さんは「ここしかない個性的なお店や“場”的魅力は、来て触れてみないと分からぬ。ひとりでも多くの人にここを歩いてもらい、興味を持ってもらうことです」と語る。

seboneの動員数は、初回の7,000人から第10回の15,000人へと回を重ねるにつれ、伸びているという手ごたえは確かにある。sebone自体は、運営面での苦しい時期も超えてようやく定着してきた。

しかし、目下の課題は、間の期間つまりイベント以外の日常でいかにseboneの吸引力を繋いでいくかだ。町の活性化の本質はイベントの集客だけではない。

それについて黒野さんは「今、月1回の『まちあるき』と公園の清掃活動を通じて、誰もがまちづくりに参画できるような活動も始めてます」とのこと。年1回の“点”=seboneを“線”で結び、「駅デザ会議」を通じてエリアの“面”へと肉付けをしていく。そうしていくことで、豊橋の中心市街地はますます面白くなりそうだ。



水上ビル下の用水路を見る「まちあるき」の参加者。月1回の会には誰でも参加できる。



団円工作からのアートをみんなで楽しむ。名豊ビルで行われたワークショップのひとコマ。



ライブペインティングも間近に見られる。



いろんな打楽器を使っての音のアートのワークショップ。プラット横の芝生は水上ビルの延長という位置づけだ。



豊橋の名産と言えば花火。老舗の花火問屋でもある天野商店では大小あらゆる種類の花火が揃う。



セレクトショップ「interact」。店主、森下裕一郎さんのところには遠方から訪れる顧客も多い。



菓子問屋の渥美孝士さん(右)とご家族。詰め合わせは何セットでも応じられる。



山本一成理事長のお店はタバコ店。世界中のタバコが何でも揃う。

連帯・協同でつくる 安心・共生の 福祉社会を目指して



愛知県労働者福祉協議会
会長 狗飼 孝志

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、愛知労福協をはじめ、東海労動金庫、全労済愛知県本部、愛知県住宅生協、福祉基金協会（ハートフルセンター）の事業推進に対し、格別なるご理解とご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

昨年は、中央労福協を中心に、「労福協の理念と2020年ビジョン」に基づき、①社会的連帯を深める運動と政策の実現、②暮らしの総合支援（ライフサポート）、③協同事業、労働者福祉運動の基盤強化を3つの柱に活動を進めてきました。

特に、2012年の国連が定めた「国際協同組合年」を契機として、各種セミナーやシンポジウムなどを開催する中で、改めて協同組合の歴史を学びその社会的役割について考える年になりました。その結果、労働組合と事業団体との関係が「ともに担う運動主体」であることを再認識し、労働者自主福祉運動の重要性が見直されるとともに課題も見えてきました。今後は、その中で示された行動指針等を実践し、労福協が目指す「連帯・共同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現に向けた活動を推進していく所存です。

さて、私たち労働者を取り巻く福祉環境は、少子高齢化の進展に伴う年金・医療をはじめとするさま

ざまな社会保障の問題が山積し、将来の生活に対する不安が増大しています。しかし、このような状況下こそ、労福協に求められる役割と責任がますます大きくなっています。福祉事業の充実・強化に向けた取組みが重要と認識しています。

現在、愛知労福協の活動においては、労働組合・事業団体と協働して行う各種相談窓口の「勤労者安心ネットワークセンター」や労福協各支部が実施する定年退職前の「退職準備セミナー」および退職後の地域コミュニティの場を提供する「友の会活動」、さらには、ゆとりある暮らしのための各種「文化・体育事業」などがあり、勤労者および高齢者の生活を守り向上させるためにさまざまな自主福祉活動を実践しています。

本年も、労働団体、福祉事業団体、そして愛知県ならびに各市町村のご協力を頂きながら、セーフティネットの拡充と実効性のある態勢づくりを推進し、勤労者福祉の向上に積極的に取り組んでまいりますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が、皆さんにとって、輝かしい年となりますよう心からご祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせて頂きます。

● 愛知労福協活動 ●

「21世紀・人と暮らし環境に優しい福祉社会の実現」

- 福祉事業団体の基盤強化と
生涯福祉サポート体制の充実
- 組織拡大・活性化と支部活動の強化
- 中小企業・未組織勤労者の福祉施策充実
- 活動推進の基盤整備と強化・充実
- 国際交流活動、社会貢献運動の推進

中央労福協「第61回定期総会」が開催されました。

2013年11月29日(金)、東京・ホテルラングウッドに全国労福協(47)・労働団体(49)・事業団体(13)の代表者が一堂に会し、2年に一度の「定期総会」が開催されました。総会では、2012~2013年度活動報告に続き、2014~2015年度活動方針案および2014年度予算案について提案・審議が行われ全会一致で可決承認されました。

2020年ビジョンの実現に向け、引き続き、労働団体と事業団体の連携強化を図る中で、自主福祉運動を推進し勤労者福祉の向上を目指していくことを確認しました。



▲総会会場

2013年度「中部労福協研究集会」

2013年11月6日と7日の2日間にわたり、金沢都ホテルにおいて、近畿・中部12府県の労福協から48名の役員または関係者の方が参加し「2013年度中部労福協研究集会」が開催されました。さまざまな分野から講師をお招きしそれぞれの取組みや課題について興味深い報告が多く出され大変有意義な研修会となりました。



▲研究集会会場

「第26回愛知県勤労者スポーツ大会」が盛大に開催されました。



▼▲開会式



▲「優勝」新日鐵住金名古屋労組チーム

11月9日(土)、長久手町の愛・地球博記念公園において、「第26回愛知県勤労者スポーツ大会」が開催されました。2012年の大会から、ソフトボールの部の運営はすべて愛知労福協が担当していますが、各支部のご協力により地区予選(145チーム2,165人)及び決勝大会(15チーム225名)とも大変多くのチームにご参加いただき盛大に開催することができました。大会運営にご協力いただいた関係各位並びにご参加の選手・役員の皆さんに心より感謝申し上げます。

大会は、初戦から白熱した好試合が各グラウンドで繰り広げられ、決勝戦においては、タイブレーカーに持ち込まれる接戦となりました。

試合終了後、表彰式を行い、優勝・準優勝・3位のチームには愛知県知事賞と副賞、4位のチームには敢闘賞が授与されました。

●ソフトボールの部出場チーム(支部代表)

支 部 名	支 部 代 表 チ ム (会員名)
東 三 河	日本車輌名古屋労組
豊 田	豊生ブレーキ労組
海 部	高岳製作所労組甚目寺支部
知 多	新日鐵住金名古屋労組
岡崎・額田	ジェイテクト労組花園支部
尾 張 北	三菱重工労組名誘支部
西 三 河	豊田自動織機労組
尾 張 東	中部日本建設労組
尾 張 西	三菱電機ロジスティクス労組
名古屋南	大同特殊鋼星崎工場労組
名古屋中	ダイキン工業労組名古屋支部
名古屋北	名古屋交通労組東山運転支部
名古屋山	トヨタカローラ名古屋労組
名古屋東	マルヤスエンジニアリング互助会
名古屋西	全日通労組愛知県支部

中国江蘇省総工会との交流

訪日代表団の来日(8月31日~9月5日)

愛知労福協と連合愛知は、中国江蘇省総工会との労働文化交流協定に基づき、曹海副主席を団長とする第15次友好訪日代表団6名を招へいしました。

9月2日に愛知労福協・連合愛知への表敬訪問があり、それぞれの組織紹介および意見交換を行う中で相互理解を図るとともに、その後の歓迎宴において友好交流を深めました。



訪中代表団の派遣(11月18日~11月24日)

中国江蘇省総工会との労働文化交流協定に基づき、連合愛知8次・愛知労福協第13次友好訪中代表団6名を派遣しました。

7日間の日程で上海・蘇州・南京・香港を訪問し、各地で熱烈歓迎を受ける中で、友好交流を深めました。

◆ 代 表 団 ◆

役 職	氏 名	派 遣 元
団 長	土肥 和則	連合愛知 会長
団長代行	狗飼 孝志	愛知労福協 会長
副 団 長	小林 宏	連合愛知 副会長
副 団 長	綱木 富夫	愛知労福協 副会長
秘 書 長	度会 章仁	愛知労福協 副会長
事 務 局	佐藤 尚武	連合愛知 国際局長



ブロンズの会結成30周年記念「中国ツアー」(11月5日~11月8日)

労働福祉功労賞受賞者で構成するブロンズの会の30周年記念行事として、南京・鄭州・洛陽を巡る2泊3日の中国ツアーを企画し12名の方にご参加いただきました。

江蘇省総工会の歓迎もあり、友好交流を築き上げてこられた方々の親交を深めることができ、大変意義のある訪中となりました。

労働法講座Ⅳ ~受講者募集のお知らせ~

愛知県労働協会では、以下の内容で労働法講座を開催します。どなたでもご参加いただけます。

- 3/ 3(月) 18:45~20:45 … 「限定正社員」の雇用ルールの整備をめぐる法的問題の考察
- 3/ 6(木) 18:45~20:45 … 具体的事例から学ぶ女性労働者をめぐる法律実務
- 3/11(火) 18:45~20:45 … 労働契約の成立に関する様々なトラブルと法的対応策
- 3/13(木) 18:45~20:45 … 労使慣行の成立・効力、変更・解消をめぐる法的諸問題と紛争予防のポイント
- 3/17(月) 18:45~20:45 … ブラック企業と呼ばれないための処方箋

場 所 愛知県産業労働センター(ウインクあいち)
名古屋市中村区名駅4丁目4-38

受講料 12,000円(5日間・税込)

●申し込み・問い合わせ●

〒450-0002

名古屋市中村区名駅4-4-38

公益財団法人愛知県労働協会

労働教育グループまで

<http://www.ailabor.or.jp/rodo/>

TEL (052)485-7154

FAX (052)583-0585

名古屋ブロック

第9回 退職準備セミナーを開催

11月の日曜日(3日・10日・17日)は午前／午後、24日・午前の計7回)をブロック6支部が順次開催しました。

参加者は合計325名、内112組のご夫婦にご参加頂きました。

講師は、昨年に引き続き社会保険労務士の鈴木久子さんに7回すべてお願いしました。

セミナーでは60歳台前に知っておくこと、定年(60歳)前後の働き方、そして退職前いつまでににをするかの手続きなど、退職(しない)準備について参加者全員が熱心に聴講されました。

毎回参加者にお願いしていますアンケートでは、具体的な判りやすい説明を聞くことができ、今までの不明な点が理解できた事や参考になった事など、大多数の方がセミナーに参加して「よかったです」と答えられました。



▲熱心に聴講する参加者のみなさん



▲講師の鈴木久子さん

名古屋中支部

第29回支部定期総会
2013年10月10日 参加:50名
場所:東海労働金庫本店大会議室



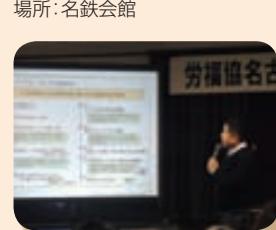
名古屋東支部

第29回支部定期総会
2013年10月3日 参加:63名
場所:アビタン



名古屋西支部

第10回チャリティゴルフ大会
2013年11月23日 参加:86名(23組)
場所:中日カントリークラブ



名古屋南支部

第29回支部定期総会
2013年9月26日 参加:32名
場所:東海労働金庫
名古屋南支店
2階大会議室

第3回
チャリティゴルフ大会
2013年11月12日 参加:63名
場所:日本ラインゴルフ
俱楽部

2013年
秋季会員全体会議
2013年11月18日 参加:31名
場所:アビタン



海部支部

支部ソフトボール大会
2013年9月28日 参加:70名
場所:津島市生涯学習
センターグランド



第38回
支部定期総会
2013年10月16日 参加:45名
場所:津島市文化会館
視聴覚室



東三河支部

第38回
支部定期総会
2013年9月20日 参加:141名
場所:男女共同
参画センター

実務担当者書記研修会
2013年10月15日 参加:28名
場所:東京製綱
繊維ロープ(株)



海岸清掃
ボランティア
2013年10月6日 参加:36名
場所:田原市
白谷海岸



尾張西支部

第31回支部定期総会
2013年9月27日 参加:67名
場所:全労済一宮会館



第10回支部ボウリング大会
2013年11月16日 参加:172名
場所:稻沢グランドボウル



友の会だより

第16回交流ゴルフ大会

当時は台風の影響で予報は雨模様、2013年10月9日(水)18地区代表の72名により第16回県友の会交流ゴルフ大会を日本ラインゴルフ俱楽部西コースで開催しました。曇り空の中のスタートでしたが途中数ホールは予報どおりかなりの雨となりました。

そんな天気の影響もあって参加者の平均スコアは97.2と昨年のスコアー94.6を下回りはしましたが、平均年齢70歳(昨年69.2歳)を考慮すればレベルが高いスコアといえます。

ホールアウト後の表彰式において団体・個人の表彰が行われ、団体優勝が東三河支部・豊川地区(4名の平均グロス89.3、NET 73.1)、2位が尾張東支部、3位は名古屋北支部の順、個人優勝は豊川地区的土島秀樹さん(グロス87、NET 70.2)、2位は渋谷 昭(名北)さん3位鈴木延治(春日井)さんでした。また、ベストスコアは大塚則夫(豊田)さんの83でした。



▲表彰式の模様



▲団体優勝の豊川地区チーム



▲個人優勝の土島さん

友の会の集い

第8回友の会の集いを2013年9月26日(木)～27日(金)19地区友の会より各地区4名、役員など総勢90名が参加して開催しました。



▲会場風景

会場が犬山市「迎帆樓」ということもありましたが、研修会は4事業団体の説明に続いて、紅葉で有名な「寂光院」山主松平實胤住職に講師をお願いしました。テレビ・ラジオの教育番組などに多く出演された方であり、内容についても「人生こころ豊かに」としてみなさんの心に響いた1時間30分の講演でした。

翌日は、全国的に人気上昇中の国宝「犬山城」と、整備された犬山市街地を自由に散策しました。



▲開会あいさつの浅川会長

▲講師の松平住職

名古屋北支部

第29回支部定期総会
2013年10月9日

参加:60名
場所:三菱電機㈱爽明会館



名古屋金山支部

第29回支部定期総会
2013年10月10日

参加:53名
場所:東海労働金庫
金山支店会議室



尾張東支部

第9回親子行事「秋の大収穫祭」
2013年10月19日

参加:48家族149名・養護施設ご招待16名
場所:近藤ファーム(東郷町)



尾張北支部

労済地域行事
「ますつり大会」
2013年9月8日
参加:297名
場所:犬山八曽キャンプ場



小牧市民まつり(エーアーバ
ランス・サイバーホイール)
2013年10月19日
(20日雨天中止)
参加:応援役員13名
場所:小牧山会場



第15回支部海外旅行
2013年11月4日～9日
参加:16名
場所:トルコ(カッパドキ
ア・イスタンブル)



西三河支部

第33回支部定期総会
2013年9月11日
参加:61名
場所:全労済刈谷会館



自治体懇談会
2013年11月26日
参加:14名(支部8名、自治
体6名)
場所:全労済刈谷会館



豊田支部

友の会1泊旅行
2013年11月7日
～8日
参加:91名
場所:東京・千葉



退職準備セミナー
2013年11月23日
参加:84名
場所:豊田市福祉
センター



岡崎・額田支部

第36回働く者の作品展
2013年11月20日～24日
参加:絵画・写真・
書道・工芸
55作品
場所:岡崎市美術館



知多支部

第30回 支部ソフトボール大会
2013年9月7日
参加:22チーム329名
場所:IHI愛知事業所グランド



第32回 ろうきん地域行事
「みかん狩り」
2013年11月17日
参加:260家族889名
場所:美浜町「青山みかん園」



「働くことを軸とする安心社会」を築こう！ ～連合愛知第25回定期大会を開催～



▲土肥会長あいさつ

連合愛知は10月28日、名古屋市公会堂において第25回定期大会を開催しました。中間年となるこの大会では「働くことを軸とする安心社会を築こう！」を引き続きスローガンとし、各界からの来賓、連合愛知役員、また各構成組織からの代議員・傍聴者など、760名を超える参加がありました。

冒頭、あいさつに立った土肥会長は、「いまだなお復興・再生が遅れている東日本大震災の被災地について、この震災を風化させないためにも、今後も

連合本部と連携し、継続した取り組みを展開する。

昨年12月の衆議院選挙、本年7月の参議院選挙では、民主党に対する世論は大変厳しいものであったが、連合愛知としての力量は発揮できたと判断している。2015年の統一地方選挙に向け、連合愛知の組織内議員の完勝をめざし早めの準備を展開していく。

働く者の労働保護ルールの改悪に對しては、世論を喚起するような運動の展開を強力に進めていかなければならない。

連合の2020年までに1000万連合をめざす活動を受け、連合愛知も第7次組織拡大中期計画を立案し、構成組織と一体となり地方連合会の役割を果たしていく。

男女平等参画社会の実現に向けたは、今回策定した「ACTION PLAN AICHI-III」にもとづき、各組織のリーダーの強い意識の下、積極的に取り組んでいただきたい。人材育成については検討を深めてきており、今年は具体的な対応を進めていく。

ほかにも、行政に対する政策制度の要請、最賃の取り組み、地域に根ざした顔の見える運動、労働相談や広報活動など、連合愛知の活動は多岐にわたる。引き続き共に考え行動していきたい。」と述べ、中間年である2014年度への決意を表明しました。

また、連合愛知は、この大会において「2014年度活動方針(案)」「2014年度予算(案)」などを可決・決定しました。

大会の最後には、連合愛知「ACTION PLAN AICHI-III」のキックオフが行われ、各構成組織リーダーからの熱い決意が表明されたDVDを上映し、男女平等参画計画の新たなステージがスタートしました。

「いしづえの碑」に新たに5柱を合葬 ～第52回社会運動家顕彰追悼祭をしめやかに挙行～

連合愛知土肥会長が委員長を務める愛知県社会運動家顕彰委員会は、11月11日、鶴舞公園内いしづえ碑前において「第52回愛知県社会運動家顕彰追悼祭」を開催しました。

この委員会は労働運動や社会運動、平和と民主主義を守る諸活動にご尽力され、志半ばにして倒れられた

同志の方々を顕彰し、そのご遺族の皆様を励ますことを目的に、設置されています。

土肥顕彰委員会委員長によるあいさつの後、新合葬者の名前を記した銘板の奉納、遺族等による献花が行われるなど、追悼祭はしめやかに挙行され、本年新たに5柱を加えたことに



▲「いしづえの碑」

より、「いしづえの碑」への合葬は712柱となりました。

家族との思い出残る一日に ～連合愛知伊勢湾クルージング＆ランチバイキングを開催～

連合愛知は10月19日、海員組合に協力をいただき、豪華客船「いしかり」での伊勢湾クルーズ＆ランチバイキングを開催しました。

本イベントには、152家族567名の参加者に加え、19名の連合愛知

スタッフが乗船、586名での開催となりました。

乗船後、会長からは「家族とふれあうことで、ワーク・ライフ・バランスを考える機会になってほしい、また家族と思い出に残る1日にして貰いたい」と挨拶がありました。

昼食では家族それぞれで豊富な料理を満喫し、ラウンジのステージで行われたヒーローショー、大道芸人ショーなどは子供も大人も大変楽しんでいたようです。

抽選会では、多くの賞品を前に、

▲連合愛知マスコットキャラクター
“ここあ”は子供達に大人気

当選番号を読み上げる毎に一喜一憂し大変盛り上がった抽選会となりました。

その他、船内で開催していたピアノショー・似顔絵等々も人気があり、思い出に残る1日になったのではないでしょうか。



▲豪華客船「いしかり」

東海ろうきん

教育ローン キャンペーン

2013年 9月2日月 → 2014年 4月30日水

融資実行分



年 **2.1%**
[変動金利・会員組合員の方の場合]

~**年3.4%**
[固定金利10年返済・一般勤労者の方の場合]

夢に向かうあなたを
応援します!!

東海ろうきん
ならではの
保証料

0
円



©ROKIN

東海ろうきん 財形貯蓄・エース預金ご契約者 限定特典

年間6万円以上のお積立てで**年0.2%金利を引下げ!**

※一般勤労者の方で、現在東海ろうきん住宅ローンを主債務者としてご利用、かつ給与振込をご指定いただいている方については会員組合員の金利でご利用いただけます。

※お借り入れ金利は、お申込み時ではなく実際にお借り入れいただく日の金利が適用となり、場合によってはお申込み時の金利と異なる場合がございます。

※融資金利・融資条件等については、金利環境等により変更する場合がございます。

※審査の結果等によっては、ご利用いただけない場合もございますので、予めご了承ください。

◎ご融資額:500万円以内 ◎ご返済期間:変動金利15年以内、固定金利10年以内 ◎担保・保証人:原則不要

◎ご利用いただける方:東海ろうきんの会員組合員、または愛知・岐阜・三重県内に在住・在勤の方(自営業者の方は除く)

会員組合員とは、東海ろうきんに出資加入していただいている労働組合等に所属されている組合員の方です。一般勤労者とは、会員組合員以外の方で、愛知・岐阜・三重県内に在住・在勤の方(自営業者の方は除く)です。

幼稚園から大学・専門学校までの入学金、受験費用、授業料、学用品、下宿の敷金・礼金等に、また他金融機関の教育ローンからの借換え資金にもご利用いただけます。

東海ろうきん(教育ローン)なら、家計の状況を考えて、返済プランを選べます。在学中は分割貸付・据置返済(ともに固定金利のみ)も選べます。

東海ろうきんホームページ(無担保ローンWeb仮申込受付サービス)で仮審査をお申込みいただけます。

ご自宅もしくはお勤め先が愛知県内の方は愛知県労働者福祉協議会と提携した教育ローンの利子補給制度がご利用いただけます。

お問い合わせ ◎フリーダイヤル 0120-226616 平日9:00~17:00 ◎ホームページ <http://tokai.rokin.or.jp>

◎東海労働金庫 〒460-0007 名古屋市中区新栄1-7-12 ◎東海ろうきんは格付け「A」を取得(R&I)。当金庫の健全性は第三者機関によっても確認されています。

全労済のなるほど 住宅保障講座

台風の季節が過ぎ去り「ほっ」と一安心。
しかし、気温が低くなり、乾燥がひどくなる冬場は、火事に備える必要があります。
今回は「まさか」に備える住宅保障をテーマにして情報を提供します。



「まさか」に備える住宅保障を考えよう！

①[火災]は約10分に1件の割合で発生。

平成23年における全国の総出火件数は、50,003件で、これは1日あたり約137件、約10分に1件の割合で火災が発生したことになります。また、火気の使用が増える冬季から春季にかけての出火件数は、総出火件数の61.7%、損害額は67.9%を占めています。

(消防庁:平成24年度版消防白書より)



②個人でできる防災(減災)対策も必要です。

予測できない災害の被害を最小限に止めるためには、事前の準備が必要です。例えば、消化器・消火バケツの設置や防災製品を使用すること、町内会や市などが実施する消防訓練への積極的な参加などで防災(減災)をすることが出来ます。

③火災共済(保険)に加入しましょう。

愛知県における1万人あたりの火災発生件数は、4.0件(消防庁:平成24年度版消防白書より)となっており決して大きな数値とはいえないかもしれません。しかし、防災(減災)の対策をしていたとしても、「まさか」のことは充分に起こります。そのような「まさか」に備えて、火災共済に加入しましょう。持ち家にお住まいの方は勿論、賃貸住宅にお住いの方も財産は自分自身で守る必要があります。賃貸住宅の場合、家主が家財まで契約していると勘違いをしている場合があります。また、不注意による失火であっても、賃貸借契約によって損害賠償の責任を負うこともあります。

▶あなたの住宅の必要保障額を確認し、最適な住宅保障を備えましょう

■ 団地・マンション等の建物火災について

団地・マンション等の鉄筋住宅は燃えないから、火災保険(共済)はいらない?

→ **建物火災の約2.5件に1件が
耐火住宅の火災です。**

マンションなど、確かに燃えにくいといえますが、鉄筋コンクリートを含む、いわゆる耐火住宅の1年間の罹災件数は12,630件です(平成24年「消防白書」)。

また家財は建物構造にかかわらず、火事のときは真っ先に燃えてしまうことが多いようです。



● ちょっとした不注意による火事のもらい火であれば、火元に賠償請求できません。

重大な過失がない限り、火元に賠償の義務は発生しません。失火責任法は失火者に重過失がある場合に限り、民法第709条(故意、または過失によって生じた損害に対する賠償責任)の規定を適用すると定めています。つまり、ちょっとした不注意による火事のもらい火であれば、火元に賠償請求できないので、自分の財産を自分で守るために充分な保障が必要です。

● 火事をおこして賃借した住宅を焼失させた場合には、家主に賠償しなければなりません。

失火により賃借物を焼失させた場合には、債務不履行責任となり、失火法の適用はありません。つまり、ちょっとした不注意による火事でも、家主に対して損害賠償の責任を負うことになります。

また、団地やマンションなどの共同住宅で火災と同じくらい心配なのは、消防栓水や上の階からの生活水による水もれで被害にあうことや、逆に他人の住居に被害をあたえたりしがちなことです。賃貸住宅に住むうえでこれらへの備えが必要です。

■ 失火責任法について

● ちょっとした不注意による火事のもらい火であれば、火元に賠償請求できません。

重大な過失がない限り、火元に賠償の義務は発生しません。失火責任法は失火者に重過失がある場合に限り、民法第709条(故意、または過失によって生じた損害に対する賠償責任)



● 火事をおこして賃借した住宅を焼失させた場合には、家主に賠償しなければなりません。

失火により賃借物を焼失させた場合には、債務不履行責任となり、失火法の適用はありません。つまり、ちょっとした不注意による火事でも、家主に対して損害賠償の責任を負うことになります。



自然災害保障付 火災共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済

POINT ▶▶

万一の時に再建できるために!

火災共済

● 最高6,000万円^(※1)の保障

● 万一のとき再建を第一に考えた“再取得価額保障”

● 70%以上の焼破損で全焼扱い

自然災害 共済

● 風水害のとき最高 4,200万円^(※2)

● 地震等のとき最高 1,800万円^(※2)

● 盗難による被害も保障

この頁は制度の概要を説明したもので
す。ご契約の際には「パンフレット」「ご
契約のてびき」を必ずご覧ください。

※1: 600口加入の場合の最高保障額です。

※2: 大型タイプにご加入の場合

● 「住まいと暮らしの防災保障点検運動」実施中!! ●

◆お問い合わせ先

全労済愛知県本部 TEL:052-681-7741(平日9:00~17:00 土・日・祝日・年末年始は除く)

全労済は、将来の支払いに備えて、厚生労働省令に定められている共済契約準備金をこえる充分な積み立てを行っています。また、資産運用のリスクを適切に管理し、健全な資産運用を行っています。

全労済は、これからも引き続き健全な経営に努めています。また、情報開示を積極的に行っていきます。また、個人情報保護法をはじめ関連する法令等を遵守し、お預かりしたお客様に関する情報について厳重な管理体制のとともに正確性・機密性・安全性の確保に努めています。

(※詳しくは各都道府県の全労済にお問い合わせください)。

●このページは制度の概要を説明したものです。ご契約の際には「パンフレット」「ご契約のてびき」を必ずご覧ください。●

新しく組合員になられる方へ (出資金について)

全労済は消費生活協同組合法にもとづき、非常利で共済事業を営む生活協同組合の連合会です。生活協同組合は、組合員の参加により運営されており、出資金をお支払いいただければ組合員となることができ、各種共済に加入できます。新しく組合員となる方には、生活協同組合運営のために出資(1,000円以上)をお願いしています(出資金は1口100円で、最低1口以上の出資が必要です)。出資金は、加入される共済の掛金払込方法に応じて下記のとおりお願いしています。

掛金の払込方法一月払いの場合1,200円(毎月100円×12ヶ月)、年払いの場合1,000円(1年のみ)

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済は、営利目的のない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とよりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいている組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済愛知県本部(愛知県労働者共済生活協同組合)



「命の贈り物」のチャンスを拓げるために
認定特定非営利活動法人

シリーズNPO No.8

あいち骨髓バンクを支援する会

年間約6,000人が突然かかる白血病、再生不良性貧血などの“血液難病”。それを救う有力な手段は、健康な骨髓液を点滴で注入する骨髄移植だ。しかし白血球の型(HLA型)の一致するドナー(骨髄提供者)はわずか数百人から数万人に1人という割合。ドナー登録が1人でも増えれば、それだけ命が助かるチャンスも増えることになる。

東海ろうきんの
「NPO寄付システム」が
応援しています



左から、水谷さん、石栗さん、内藤さん。
うしろのホワイトボードは当初からの歴史あるもの。

●骨髓ドナー募集は名古屋から始まった

同会の発端は、1988年より骨髓ドナー募集を行った「名古屋骨髓献血希望者を募る会」。それは、大谷さんという女性が名古屋で骨髄移植を受けたのが契機だった。会の活動は実を結び、翌年、全国初の民間の骨髓バンク「東海骨髓バンク」が発足。55例の移植を行う。当初の“募る会”は広報組織となり、啓発活動とドナー登録募集活動に携わった。

「私たちは、一地方の民間活動のままではいけないと、署名活動などで厚労省に働きかけました。その甲斐あって、1991年には『日本骨髓バンク』が実現しました。ドナー登録者のデータも一元管理され、15,000件以上の移植が実現しているんですよ。水谷久美さんはそう話された。

その後1994年、「募る会」は「骨髓バンクを支援する愛知の会」と名前を変え、あわせて1997年には、別に、患者の生活支援と心のケアを行う「愛知県長期滞在患者を支援するはなのきの会」も立ち上げる。

さらに、2005年にはこの2つの患者支援事業を統合し、特定非営利活動法人「あいち骨髓バンクを支援する会」に、2013年に同組織は国税庁より「認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)」として認可を受け、寄付金での税の優遇措置が受けられるようになった。

「1人でも多くの命を助けるのに必死でした。水谷さんの言葉には実感がこもる。

●患者の気持ちとドナーの気持ち

以前は患者さんだった石栗須代(ゆきよ)さんは「私は、比較的早くにドナーさんに適合者が見つかり、命が助かりました。ドナーさんにはどれだけ感謝してもしきれません」と語る。移植後、多少の障がいがあるのが普通だが、「そんなのたいしたことありません」とも。生きる喜びを噛みしめる笑顔が印象的だ。

一方、ドナーになる側の動機はなんだろう。内藤千敬(かずのり)さんに訊いた。

「僕は、20年前、ACの骨髓バンクの広告に出ていた中堀由紀子さんを書いた『21歳の別離』を読んだのがきっかけ。それで2度ドナーになりました(生涯に2度まで)」。その本の128ページに最も印象に残った言葉があったと言う。そこを読んでもらった。

「…助かる方法があるのに、提供者がいないために死んでいくのは、とても耐えられません。骨髄提供するのは、とても勇気がいると思います。提供者の麻醉事故だって、百パーセントないとは限りません。でも、わたしたち患者も死と隣り合わせなのです」。

内藤さんは患者さんからの匿名の手紙で「あなたがいたから生きられます」と感謝の言葉をもらった時、声をあげて号泣したという。

現在、ドナー登録者は約44万人。対して登録患者数は約3,000人。短時間のうちに適合者と出逢うには、まだまだ十分とは言えない。

■認定特定非営利活動法人 あいち骨髓バンクを支援する会

〒461-0040

名古屋市東区矢田2-2-15-403

*TEL・FAX 052-712-0457

*MAIL npoaichi@tj9.so-net.ne.jp

*WEB http://www.aichinokai.or.jp/

ご寄付のお願い

◆一般寄付

会の趣旨に賛同され、継続的にご寄付いただける個人、企業及び団体。金額任意。

◆賛助会員

*企業及び団体：一口3万円／年

*個人：一口1万円／年

◆振込先

*三菱東京UFJ銀行

金山支店 普通3654780 または

*郵便振替

00890-0-76637

までお願いします。

ボランティア会員募集中

会の趣旨に賛同され、会の運営や活動に直接携わって頂ける方を広く募集します。

(会費無料) 会報や活動報告、イベント案内、骨髓バンクの情報などをお送りします。



理事・事務局長の水谷久美さん。



↑看護学校での講演。
体験談などが話される。



ドナー登録会は欠かせない活動だ。



イベントにも活発に出展し市民に呼びかける。



骨髓移植を受けた石栗須代さんは
ソプラノ歌手。生きる喜びを歌う。



「21歳の別離」の一節を読む
内藤千敬さん。



大学の学園祭での啓蒙活動。
聞き入る医学部の学生たちも真剣。



長期医療で遠方から来られる方のための長期滞在施設「はなのきハウス」は病院近くに用意される住居。

愛知県福祉事業団体情報誌“ハナノキ”2014新年号 No.175

発行 愛知県労働者福祉協議会 名古屋市熱田区金山町一丁目14番18号 TEL(052)682-6029
ホームページアドレス : <http://aichi-rofuku.com/>

発行責任者 狗飼 孝志